

夏休み **オンライン** こども病院見学会を実施しました

市民病院では2019年度まで毎年、町田市在住の小学4～6年生を対象にして、市民病院の各部門の仕事体験や施設見学を行う「夏休みこども病院見学会」を開催していましたが、2020年度以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため開催することができませんでしたが、2022年度は「コロナ禍であっても何とか開催したい」との強い思いから、医師、看護師をはじめとする各職種が協力し、オンラインでの開催が実現しました。

約1年前から実施方法の検討を始め、動画作成などの準備を進めていました。当日は医師や看護師の他、薬剤師などの医療職、併せて5つの部門から、仕事内容の紹介やクイズなどを行いました。質疑応答のコーナーでは、たくさんの質問もいただきました。



◆ 当日プログラム ◆

- ① 開会のあいさつ「金崎院長」
- ② 看護部 「院内の案内と看護師のお仕事」
- ③ 放射線科 「ようこそ市民病院ラジエーションハウスへ」
- ④ 薬剤科 「病院薬剤師のお仕事紹介」
- ⑤ リハビリテーション科
「リハビリテーションってどんなお仕事？」
- ⑥ 外科 「体に優しい外科治療の最前線」
- ⑦ 閉会のあいさつ「保谷診療部長」

看護部

－院内の案内と看護師のお仕事－



病院内（発熱外来、手術室、ICU、小児病棟、一般病棟）を回りながら、看護師の1日を紹介する動画を作成し、看護師がその場で解説を行いました。

質問コーナーでは、「どうして看護師になったの？」といった質問があり、当日参加していた2名の看護師からそれぞれ看護師になったきっかけをお話ししました。

放射線科

－ようこそ市民病院ラジエーションハウスへ－



病気を見つけるカメラマンともいえる診療放射線技師から、MRIとCTの解説をしながら、撮影や画像処理などの仕事を紹介する動画を作成しました。動画の中では、画像あてクイズなども行いました。

参加した子供さんからは「MRIとCTはどう使い分けるの？」といった専門的な質問もいただきました。

薬剤科

—病院薬剤師のお仕事紹介—



薬剤師が作成した動画を使って、病院で働く薬剤師の仕事を紹介しました。病院内では、調剤室や病棟、入退院支援センターなど様々な場所で仕事をしている様子を薬剤師から解説しました。

質問コーナーでは「何種類くらいお薬があるの?」、「薬を飲み忘れた時はどうするの?」、「錠剤を嚙んだら効果がなくなるの?」など率直なご質問をいただきました。

リハビリテーション科

—リハビリテーションってどんなお仕事?—



リハビリテーション科では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という3つの職種が主に仕事をしています。今回は、脳梗塞になった患者さんにそれぞれの職種がどうリハビリテーションを行っていくか、ということストーリー仕立ての動画で紹介しました。

「リハビリを失敗することはあるの?」「重症の方のリハビリはどうしてるの?」などたくさんの質問をいただきました。

外科

—一体に優しい外科治療の最前線—



外科部長である保谷医師から、外科医師の仕事の一部をご紹介します。手術前の手の洗い方やガウンの着方から手術で使う機器の紹介、糸結びの様子まで、動画も使いながら解説しました。

「目が悪くても外科医になれますか?」、「ホッチキスの芯で縫ったあと、芯は溶けますか?」などのご質問をいただきました。

アンケートでは「わかりやすい話で、とても面白く興味のわくものばかりだった」「病院で働いたら放射線技師になりたいと思った」といった嬉しいお声をいただくことができました。今回は初めての試みで苦労したこともありましたが、アンケートでのお声を聞き、職員一同、準備をしてよかったと心から嬉しく思いました。

また、アンケートの中では、病院内を実際に見て話を聞きたいとお声もいただきました。コロナ禍で通常のカンファレンスが難しい状況もありますが、様々な形での開催を模索していきたいと思っております。